

● 採血の時のゴム手袋の交換

突然のメールを失礼します。私のような学生ごときが、このようなメールを差し上げるのはいかななものかと存じますが、貴院に通院中の一患者として、メールをお送りさせていただきました。

先日、私の手術の術前検査で検査部で採血をされた時、(前の患者の採血をした手袋と交換していないことを確認してから)・・・

◆「病気をもらいたくないから、手袋を替えてくれ」

・・・と申し上げましたら、採血をした(多分)看護婦から・・・

●「私の手(手袋)からは病気が移らないから、よっぽど『あなた』が手洗いをするこ との方が大事だ」

・・・と言われました。その際、嫌そうな顔をして看護婦(???)は手袋を替えましたが・・・

琉大病院の看護婦(師ではありません)に期待することはまったくありませんが、「採血の際、医療従事者が手袋を替えないことによって、患者への感染が起こる可能性が高くなる」という明らかな証拠が出ているにもかかわらず、この対応は何かならないのでしょうか・・・一患者として、ホームページからこちらに投稿させて頂くことをご容赦下さい。

● 検査部からの回答

検査部では、平成15年3月2日に外来患者を対象とする中央採血を開始して以来、“感染事故防止のために手袋を装着して採血する”ことを徹底してきました。しかし今回の御指摘のように“患者様ごとに手袋を取り替える”ことについては、「費用が掛かる」、「装着するのが煩わしい」、「患者様の待ち時間が延長する」といった理由から、検査部全員の統一した手順にはしていませんでした。寄せられた御意見を検査部内および関係部署と話し合い、来る11月22日(月)より、“検査部中央採血室では、個々の外来患者様毎に、採血直前に新しいゴム手袋を装着する”手順を徹底させる方針を採ることにしました。この手順を採用するに至った理由は以下の点です:

(1) 現在の、異なる患者に継続して同じゴム手袋を使用する状況は、採血担当者の感染防止には有効であるが、患者様にはむしろ交差感染の危険性を助長する。

(2) 採血対象とする患者様は外来患者であり、採血担当者は患者様の病態（特に感染性の有無）をまったく把握できない状況にある。

(3) 琉球大学検査部は National Committee for Clinical Laboratory Standards (NCCLS) の構成メンバーとして、この組織の勧告する NCCLS H3-A5、「Procedures for the Collection of Diagnostic Blood Specimens by Venipuncture」に同意しており、この勧告を率先して遵守する道義的責任をもつ。

The phlebotomist must put gloves on before the venipuncture is performed, for each patient, with consideration for latex sensitivity as discussed in Section 7.3.

(NCCLS H3-A5)

(4) 患者様毎にゴム手袋を取り替えることによって発生する経費負担は予想したよりも少なく、許容できる範囲にとどまる。

ご指摘ありがとうございました。

04/11/19
